

整備効果の概要

1 . 東九州自動車道の供用に伴う効果

1) 高速ネットワークの拡大(九州自動車道 - 東九州自動車道)

- ・東九州自動車道の利用者が増加
- ・空港までの所要時間が大幅に短縮

2) 高速ネットワークの強化(北九州都市高速道路 - 九州自動車道)

- ・都市高速道路から九州自動車道への接続がスムーズに

3) 空港へのアクセス向上

- ・マイカー利用者の多くが有料道路を利用
- ・エアポートバスの空港への定時性・アクセス性の向上に寄与

4) 企業活動、救急活動への効果

- ・材料、製品搬送の効率化
- ・救急搬送時間の短縮

5) 東九州道のさらなる延伸に期待

- ・物流の効率化、観光振興、新たな企業進出に向けた延伸への期待

2 . 周辺関連道路への効果

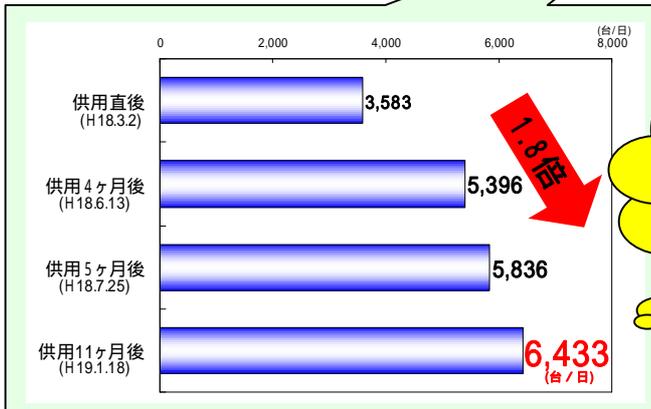
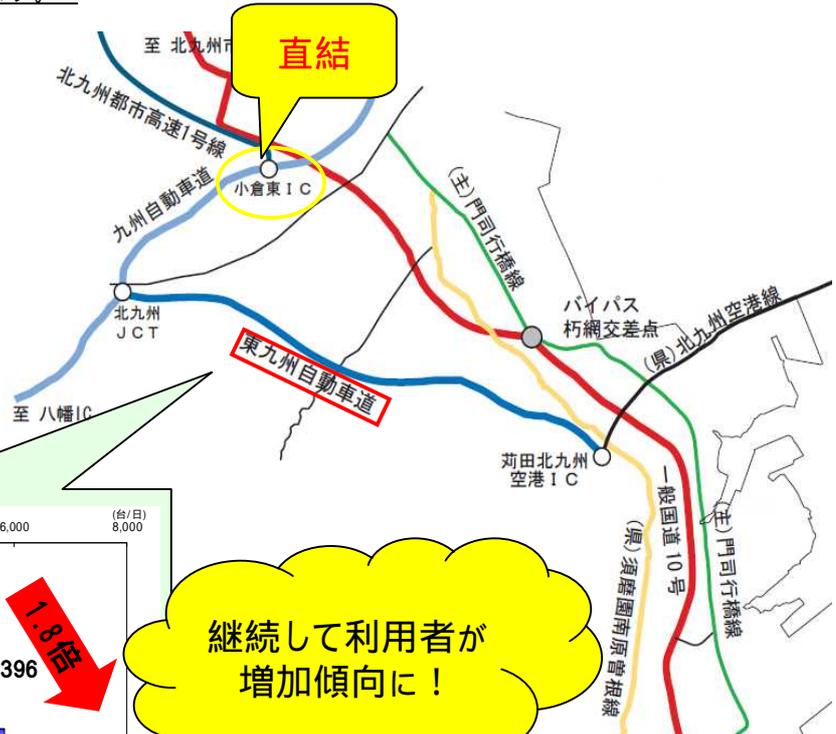
- ・一般国道10号の交通量の分担率が減少
- ・一般国道10号バイパス朽網交差点の慢性的な渋滞が緩和
- ・CO2排出量が年間約2,400t縮減
- ・走行性の向上及び定時性の確保が高く評価

1. 東九州自動車道の供用に伴う効果

1-1 高速ネットワークの拡大(九州自動車道 - 東九州自動車道)

定時性の高い、高速ネットワークが整備されたことにより、新北九州空港や大分県などのアクセス性が向上しました。

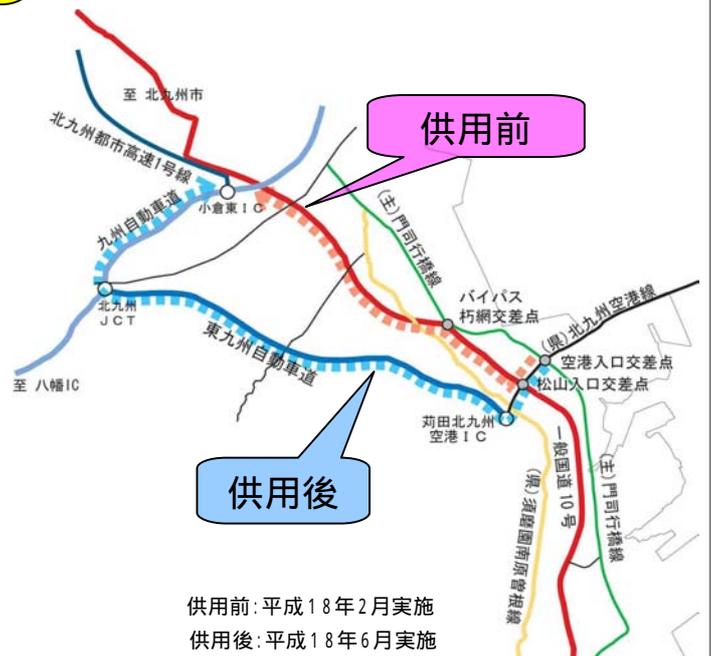
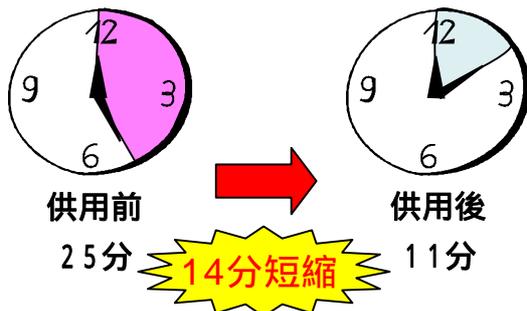
●東九州自動車道の交通量が、供用直後の約3,600台/日から約11ヶ月後には約**6,400**台/日となり利用者がますます増加しています。



継続して利用者が増加傾向に!

東九州自動車道(苅田北九州空港IC)の交通量推移

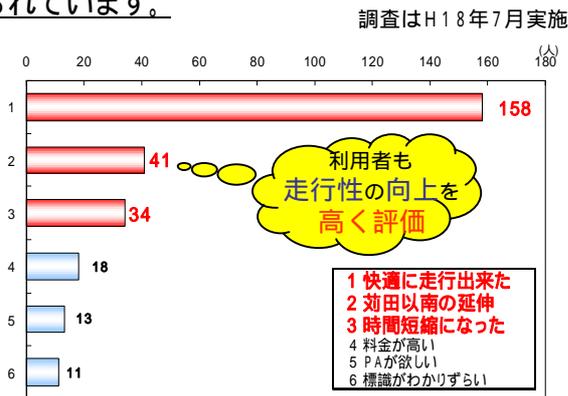
●小倉東インター～空港入口間の所要時間は、供用前**25分** 供用後**11分**へと**14分**短縮されました。



東九州自動車道の利用者を対象に、『東九州自動車道を利用した感想』についてアンケート調査を行いました。

●**快適な走行、時間短縮が可能**など走行性の向上が高く評価されています。

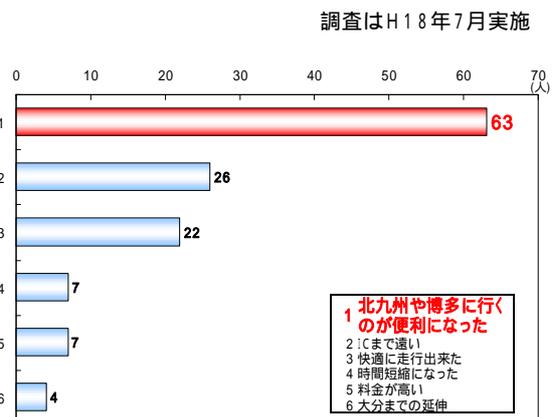
●東九州自動車道の**延伸**を望む声も多く寄せられています。



東九州自動車道利用者の声

周辺道路の利用者を対象に、「東九州自動車道についての感想」についてアンケート調査を行いました。

●東九州自動車道については、**北九州や博多に行くのが便利になった**という感想が多く寄せられています。

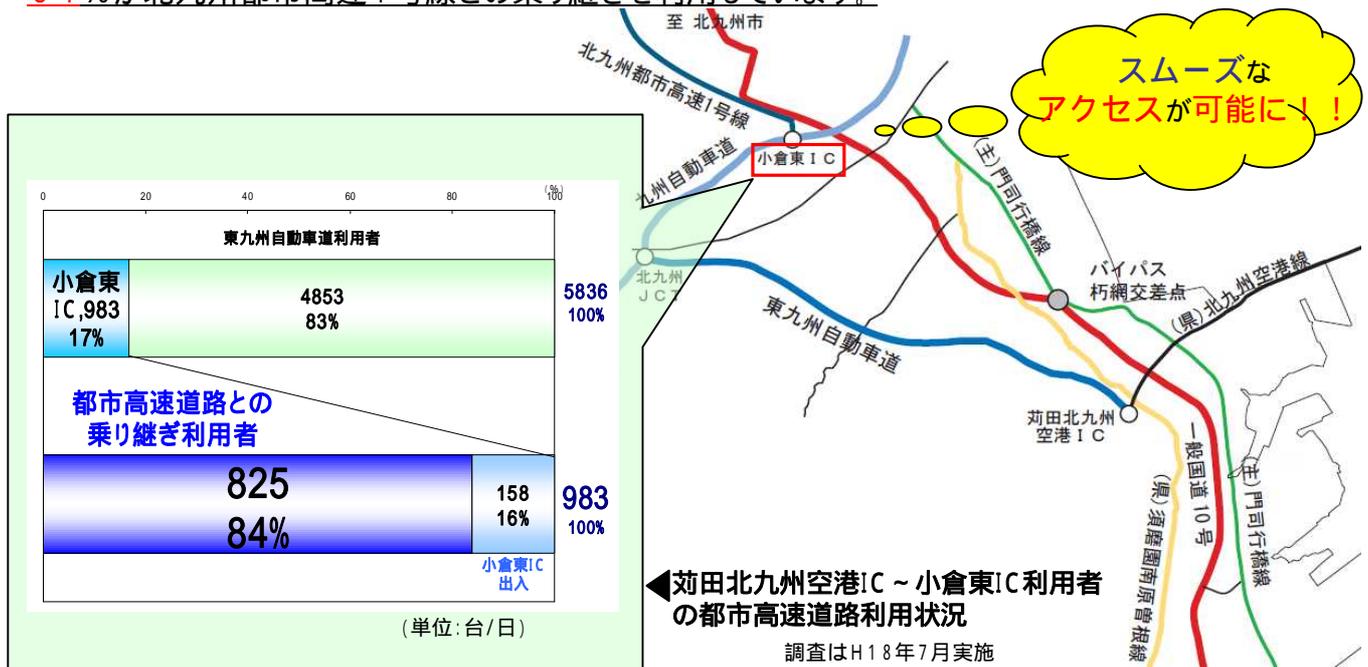


周辺関連道路利用者の声

1 - 2 高速ネットワークの強化(都市高速道路 - 東九州自動車道)

北九州都市高速1号線と九州自動車道(小倉東IC)の直結により、スムーズなアクセスが可能となりました。

●都市高速道路の直結により、苅田北九州空港IC～小倉東IC間の利用者全体(983台/日)の約**84%**が北九州都市高速1号線との乗り継ぎを利用しています。

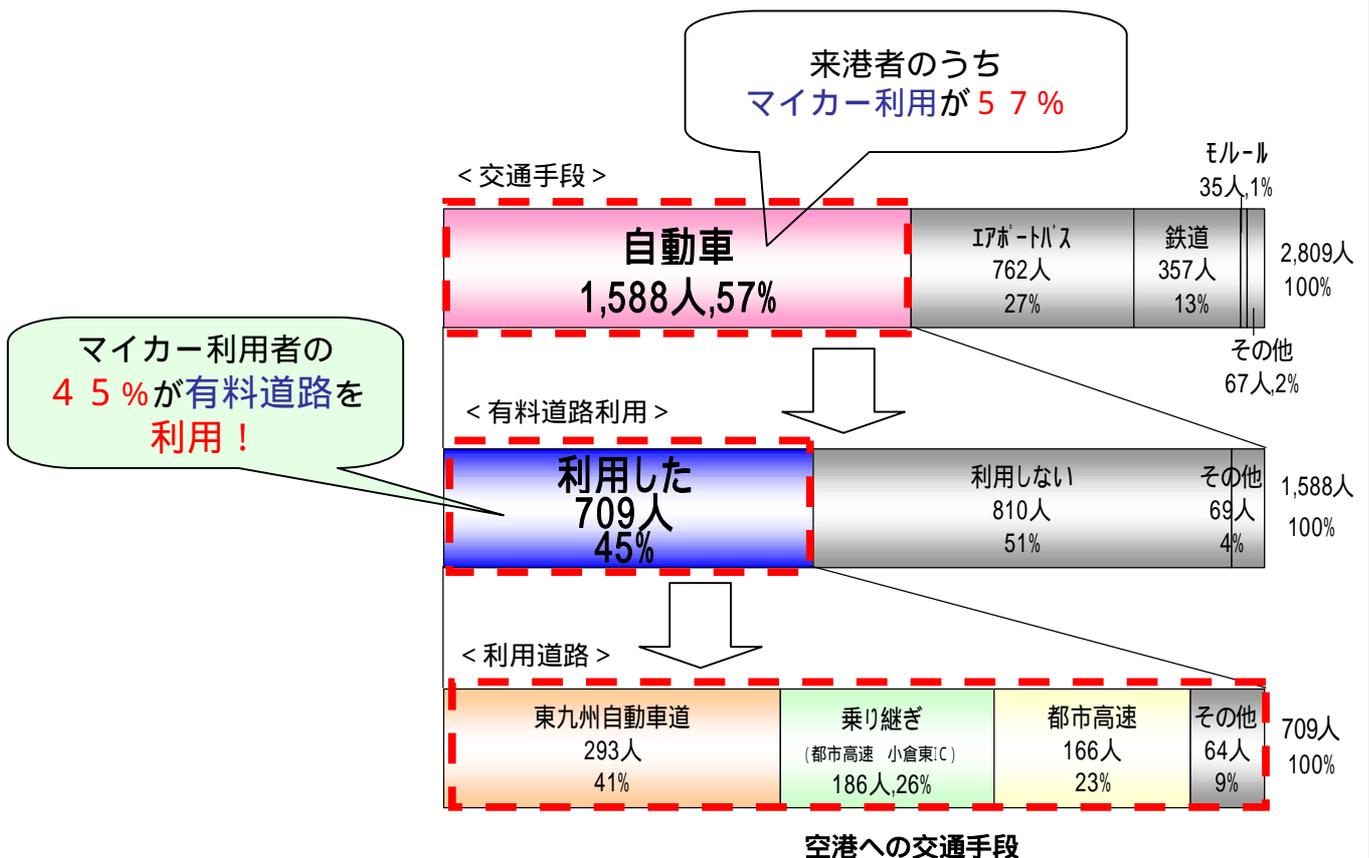


1 - 3 空港へのアクセスの向上

東九州自動車道等の道路ネットワークが、新北九州空港の広域的な利用をサポートしています。

● 新北九州空港への交通手段は、マイカー利用がもっとも多く全体の約**57%**を占めています。そのうち、有料道路の利用者は約**45%**であり、定時性・アクセス性が高い路線の利用者が多くなっています。

● エアポートバスは、有料道路を利用したルートを中心に運行されており、空港利用者の**27%**が利用しています。東九州自動車道等の整備は、エアポートバス利用者にとっても、定時性・アクセス性の面で高い利便性を提供しています。



調査はH18年7月実施

1 - 4 東九州自動車道が整備されたことによる効果



県内企業、消防関係者等の高速道路に対するご意見をうかがいました。

福岡方面からの原材料(新聞用紙)の搬入時間が約30分程度短縮した。



小倉南区:新聞社



国道10号の事故等による渋滞の場合、緊急時の代替路として利用できるようになった。



小倉南区:新聞社

北九州市内の病院へ救急搬送する場合搬送時間の短縮(5分程度)を実感している。



京築広域消防本部

福岡への出張など移動時間が読めるようになって便利になった。



小倉南区:新聞社

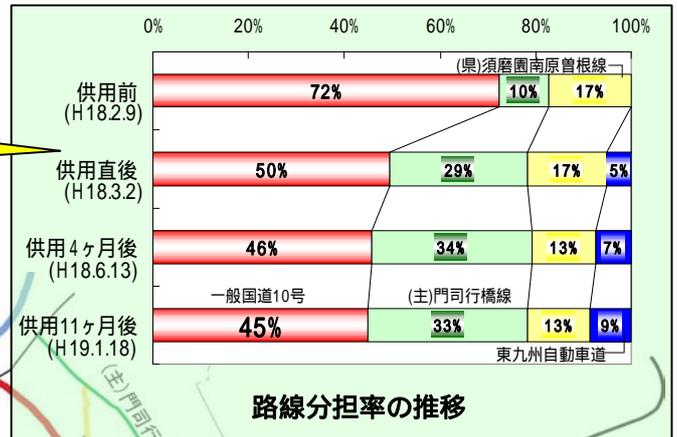
2. 周辺関連道路への効果

周辺関連道路の走行性の向上

東九州自動車道及び(主)門司行橋線等の供用により、主に一般国道10号が担っていた交通が並行路線に分担され、走行性の向上が図られました。さらに、経路の選択肢が増え、利用者が目的に応じた経路を選択できるようになりました。

● 一般国道10号交通量の分担率が減りました。

一般国道10号の負担
72%が45%に軽減!!



バイパス朽網交差点(国道10号上り方向) 供用前後の渋滞状況写真

● 一般国道10号 バイパス朽網交差点の慢性的な渋滞が緩和されました。



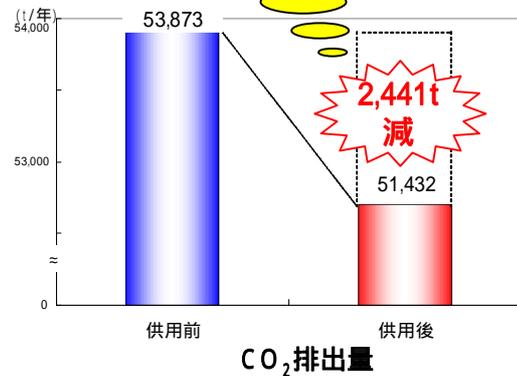
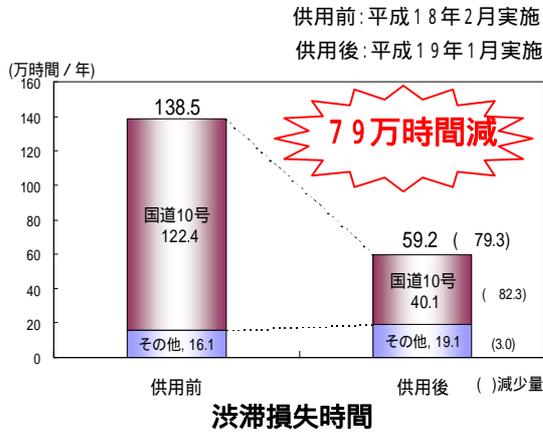
バイパス朽網交差点(10号上り方向、タピーク時)の渋滞長の推移

供用前:平成18年2月実施
供用後:平成19年1月実施

渋滞緩和等による走行性の向上により、渋滞損失時間の縮減が図られました。さらに、CO₂排出量が縮減され環境への負荷が軽減しました。

● CO₂排出量は年間約2,400t縮減されました。

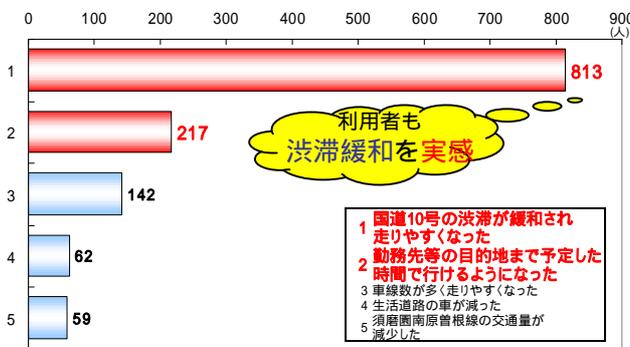
約2,400tのCO₂は、福岡ドームおよそ30個分の面積の森林が吸収する量に相当！



関連周辺道路(一般国道10号、(主)門司行橋線、(県)須磨園南原曾根線)利用者を対象に、『周辺関連道路の交通状況』、『東九州自動車道の感想』に対してアンケート調査を行いました。

調査はH18年7月実施

●一般国道10号の渋滞緩和により、走行性の向上及び目的地までの時間が読めるようになったなど定時性の確保が高く評価されています。



周辺関連道路利用者の声
(主)門司行橋線供用後の交通状況

県内企業、バス事業者、消防関係者等に周辺関連道路への影響に対してご意見をうかがいました。

- 東九州自動車道や(主)門司行橋線が供用されたことで、並行する国道10号の混雑が緩和したと実感している 【県内企業及び自治体の声】
- バスの定時性が確保され、乗客からの苦情が殆どなくなった 【バス事業者の声】
- (主)門司行橋線が供用されたことで救急医療搬送や事故・火災現場等への移動経路が増えた (今までは主に国道10号を利用) 【消防関係者の声】